

—さっきまでストリートライブを演っていた、その帰りなんですよね？

井手●そうなんですよ。ここから車で10分くらいのある代々木公園で演ってきました。でも、ホント、今日は風が強くて強くて、歌ってても口の中に砂が入っちゃって(笑)。

高砂●春一番だったのかな？目に砂が入るわ、口の中がザラザラするわで、でも、あの強風の中でも200人近い人が集まってきて、3月いっぱいまで毎日続けようと思ってるんですよ。いやー、ミュージシャン冥利につきるといこうか、やっぱりミュージシャンは歌ってないって感じで毎日演ってますね。ホント、毎日歌って暮らせるなんてこれ以上の幸せはありません。

—このページで初めてチャミグリに接する人達も多いと思うので。まずは、結成のいきさつと現在までの経緯を簡単に教えて下さい。

井手●最初、俺が以前演っていたバンド(プランニューモンキーズ)に砂ちゃん(高砂)がベーシストとして参加してくれた事があって、一緒に演ってみて「おっ、いいねえ」って感じからの発想なんです。で、正式に俺のバンドが解散し

た後、砂ちゃんを呼んで一緒に始めたんですよ。

高砂●最初はフォーク・ギターとウッドベース。"さて、何を演る?"って感じて。

井手●そうそう、俺ら2人の音楽性だと、ある特定のジャンルでの絞り込みが出来なくて、そこで、"クレイジーキャッツみたいな事を演りたいな"という発想が現れて。色々な音楽性に少し笑いも交えて演ってみよう。その点、幸いにも俺らって一通り楽器も出来るし、それこそ弾き語りからバンドまで幅広いスタイルで演れそうだったんで、それを強みにイクイクで突っ走ってる感じですね。

高砂●今、ストリートでライブを演って急に誰かが飛び入りしてきて一緒に合わせられるのって元々こういった素養があるからなんですよ。

—そうですね。サウンド的にも、ニューオリンズ風あり、ロカビリー風あり、スタックス・ビート風ありと、まさにこれも出来るし、あれも出来る。あれも演っちゃうし、こんな事も出来るやうにださせて感じて。

井手●特に今回のアルバムはその辺りをよく考えて、出来るだけバラバラな音楽性にしてい

みたんです。どうせ1枚目だし、徹底的に気合入れて行ける所まで行ってみよう。そこで、失敗したら方向転換してもいいんだし(笑)。

—チャミグリの歌を聴いていると小市民の生活といったものをものすごく感じるんですよ。日常生活の中の些細なドラマというか…。

井手●嬉しいですね。(作詞を担当している)俺自身が小市民的だったりするんで、その辺りが全面的に出てるんですよ。俺って元々生かしてデストロイを貫くというんで、年金も保険も払いつつ、デストロイするといったタイプなんで(笑)。今日もキチンと確定申告を済ましてストリートライブに挑んできました(一同爆笑)。昔は何だかんだ養ってはいまけど、結局長生きしたい、人生まっ平らに生きていいたいものを持っていて、細く長く生きていって、それがウチらがバンク好きであって、今一つ本格的なバンクに成り切れてない所なんですよ(笑)。

—それがチャミグリの場合は、例えばエレジーになったり、青春応援歌になってりって…。井手●エレジーは俺の中で一番デカイんです

みんなでワイワイ、 ガヤガヤと スキヤキみたいな 深い味わい

チャーミースマイル&グリーンヘッド
are.....井手功二&高砂圭司

チャーミースマイル&グリーンヘッド

◆チャーミースマイル&グリーンヘッド(以下、チャミグリ)がリリースしたアルバムが届けられた。古今東西幅広いジャンルのサウンドに、あらゆる物事への小市民的な目線からの深い愛の歌を1曲づつにミックスし、まさにミクログラマからマクロまでのチャミグリ・サウンドが全13曲。井手さんがやっているラジオとの絡み、インスタライブ等々、新曲などは皆の深いから、自分にもpause恒置場なんです。さっきまで代々木公園でストリートライブを演っていたという埃まみれの格好でやってきた彼らの生の声をお伝えいたします。

よ。昔は俺もスポットライト浴びてガツーンといったミュージシャンが好きだったんですけど、段々俺のヒーロー像というのが変わってきて、今じゃおとうさんやおじさんだったりしますからね。"おとうさんってカッコイイみたいなの"(笑)。テレビ番組でも「幸せ家族計画」が大好きです(一同爆笑)。

—かつこよさにも色々ありますからね。でも、チャミグリの歌詞って、様々なものに対しての愛を感じますよね。それは男女間であつたり、モノに対してだったり、色々なものへの愛っていうのかな…。

井手●そうなんです。例えば、パチスロが好きだったら、パチスロに対する愛を歌うたうとか、家族が好きだとか。おっぱい好きだとか。キャバクラが好きだとか(一同爆笑)。ホント色々なものに対する幅広い愛を歌ってますね。

—デビューからミニアルバム1枚、シングルを4枚リリースしてきて、今回が初のフルアルバムのリリースとなったわけですけど、今作『スキヤキ』において、何か"こんな事をやってみよう"的なものがあったら教えて下さい？

井手●今まで演りたかったものを一気に詰め込んだ感がありますね。あと、楽しい部分や、

笑い声や息づかいといった部分も隠し味的に入れてみました。だから、失敗したテイクがあつても、自分達でOKだったらイイじゃないかって感じて。ホント、気持ちや勢いや情熱といったものを優先に入れてみたんです。何度も録り直した曲でも、結局は一番最初のテイクを使ったりしてますからね。「スキヤキ食べよう」なんて、まさにその集大成みたいな感じて。まず、歌は一発録りで、歌ってる時に突っくる箇所もあるんですけど、そこも「俺、今いい笑いな」って感じて、そのままだし。実際にスキヤキを楽しんでいる音も入れてみたんです。このアルバム全体から、いかにも俺らが楽しんでレコーディングをしたのが伝わってきたら嬉しいかなと。

高砂●ホント、気分のいいものは作品に全て残ったって感じてですね。ちょっとリズムがズレても気分がいいならOKみたいな。だから、よほどみんながダメだという以外は録り直してませんし、だから、いい曲と思ってくれるよりは、「いやー、こいつら楽しんでるな」って感想の方が嬉しいですね。

—最後にアルバムタイトル『スキヤキ』に込められた思いって？

井手●ホント、スキヤキと一緒に1曲、1曲が欠けても『スキヤキ』にならないですよ。中に入れてる具と一緒に。豆腐があつて、肉があつて、シラタキがあつて、しょうゆ、みりん...どれも欠けても美味しくないと、いうかスキヤキっぽい味にならない。それがこのアルバムなんです。

■ 3月5日 東京・青山

/ ビクター青山ビルにて

//////今回、新皇堂にてチャミグリの2月24日発売のシングルと3月25日発売のアルバムをお買いあげのお客様に特典としてアルバムの全曲紹介を行っている『わりした』というカセットテープを先着でプレゼントしています(関東圏の新皇堂のみ)。その気になる内容は...「俺達のトクによるアルバムの全曲紹介のカセットなんですけど、これはかなり気合を入れて作りしました。アルバムを一度聴いて、そのあとこの『わりした』を聴いて、その後、アルバムをもう一度聴くと、まるで2日目のスキヤキのような尚一層の深い味わい(笑)。是非、買って、買って、聴いて楽しんで下さい(井手)

INTERVIEW & TEXT BY 池田和宏